

令和2年度 大阪府立東大阪支援学校 第2回 学校運営協議会（記録）

日時：令和2年11月26日（木）

場所：大阪府立東大阪支援学校会議室

（1）校長挨拶 第1回学校運営協議会は感染症対策にともない書面で行った。
今年度は休校で始まり、6月の学校再開以降、新型コロナウイルス感染対策を行い、リスクを可能な限り低減しながらの教育活動を行っている。今年度の教育活動は感染症対策を考え、例年のとおりとはいかないことも多くあるが、スクールサポートスタッフ、学習支援員の配置、感染症対策費用等を活用し、教育活動がよりよく行うための環境整備につとめた。
忌憚のない意見をお願いしたい。

（2）各部紹介 （小学部） 今年度教育課程の見直し 2, 4年午後授業日増。
感染症対策のため、今年度は居住地交流、石切小学校との交流中止。
泊行事は日帰り行事に変更。
（中学部） 感染症対策のため、今年度は外部ボランティアの活用、居住地交流、石切中学校との交流見合わせ、作品交流については検討中。
泊行事は日帰り行事に変更。
（高等部 普通課程）学年集団での活動中心に行う。泊行事は京都、神戸方面で日帰り行事に変更。高津高校との交流は、ビデオレター等の形で実施。
（高等部 生活課程）学年集団での活動中心に行う。朝のランニングは曜日を決めて学年単位で行う。スポーツ大会は学年単位で実施。
泊行事は大阪、神戸方面で日帰り行事に変更。評価について前期、後期制に変更。様式の見直しを行った。

（3）協議事項

①学校教育自己診断アンケート 保護者の集計結果について

（回収率は新型コロナの影響で欠席もあり、昨年度より減。）

おおむね肯定的意見。

学習サポートボランティア、PTA 活動は今年度は感染症対策のために実施できず、質問項目から省いた。

（委員意見） 提出が減った原因については、コロナ関連以外で考えられるか。

（学校） 手術等で入院、欠席の生徒もいた。提出方法については今後検討したい。

②学校教育自己診断アンケート 教員用の集計結果について

(回収率は病休等の教職員以外は全員提出)

どの項目についても肯定的意見が増加、あるいは横ばい。

保護者アンケートの結果とともに、意識の違いの大きい項目について今後検討し、次回報告する。

(委員) 今年度は HP が見やすくなりよかった。

マチコミメールに放課後等デイサービス事業も登録してもらい、学校との情報共有ができ良かった。

(3) 報告 ①本校における新型コロナウイルス対策について

本校感染症対策の取り組みについて校長より HP 記載のマニュアルについて説明。全職員でのマニュアル確認と教員の健康観察、チェックの強化を行った。今後も引き続きできる限りの感染症対策を行い子どもたちの学びの場を守りたい。

②授業アンケートについて

今年度は日曜参観が中止となり、学年の参観のみ。高等部はスポーツ大会と公開授業日にも実施した。おおむね高評価であった。

③令和2年度教科書採択について

別紙 八尾支援学校から入学する生徒については、過去とのつながりも考慮し採択した。

④第1回運営協議会 質問事項について

(リモート会議の状況) 職員会議をパソコンで実施、各部での分散実施の方法について説明。

(医療的ケアのタブレット活用) 今まで紙媒体で行っていた報告や引き継ぎをタブレットを活用して行う。情報の引継ぎミスが軽減されるとともに、オンラインでの看護師とのやり取りが可能になった。

(高等部の生徒対象の防災教育) 高等部生活課程3年Cグループ、普通課程Bグループの生徒対象に日本赤十字社との連携で行う。

(石切神社での実習) 高等部2, 3年生の職業コースの社会参加意識を高める取り組みの一環として、年間10回石切神社の清掃活動を予定。

(8項目以上の業務の削減について) 新型コロナウイルス感染症対策により、やむを得ず中止した活動もある。

今年度より校務分掌の編成の見直しを行い、分掌が7分掌に減った。

支援研修部が全校の研修関係をコーディネートする形で実施し、研修内容を見直す。高等部の評価が2期制になった。日番の廃止、児童生徒会、PTAの活動、ニュース等の回数減、行事等の見直しを来年度に向け行っている。

⑤医療的事業通学支援について

通学中に医療的ケアが必要なため通学が困難な児童生徒の学習の保証と送迎を行っている保護者の負担軽減のために介護タクシー等に看護師等が同乗し、通学支援を行う事業である。9月より始まったが、子どもが安全に使える形で継続したいと考えている。

(委員) この制度は府と事業所で手続きを進めていく。学校と訪問の看護師やヘルパーとの連携をどうしていくか課題である。

(4) その他(各委員より)

(委員) 今年度は交流活動ができずに残念。新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、また再開したい。

(委員) 今年度は進路実習も厳しい状況で、修学旅行も中止になり、保護者としても残念であった。修学旅行に代わる行事を考えてもらい感謝している。PTA活動については行事を見直し、保護者が役員をやりやすい形にしていきたい。

(委員) 臨時休校の時、地域の事業所への連絡等を丁寧に行ってもらい感謝している。また、緊急メールの登録もできるようになりありがたい。今後も学校とうまく連携していきたい。

(委員) 今年はリモートで講演を聞くことができるなどプラスになることもあった。我が子は、感覚過敏でマスクや防災頭巾が難しいが少しずつ練習することで防災頭巾が着けられるようになったり、電車に乗った時の周囲の人の反応などから、マスクが着けられるようになったりした。誰にでも支援してもらえるようにすることが「自立」であると思う。学校でもそのことを教えてもらえればと思う。

(学校) 学校も感染症対策を行いながら、できることをさぐりながら教育環境を整え児童生徒が安心して学校生活を送れるようにしていきたい。